



株式会社セゾン情報システムズ
HULFT 事業部 ヘルプデスク

タイトル

Windows XP Service Pack 2 環境下での利用について
～ 「HULFT-DataPass for Windows」編 ～

ドキュメント情報

技術文書番号： 1-HDP2-PC001-01
OS： Windows XP Professional SP2
製品名 / バージョン： HULFT-DataPass for Windows Ver.2
最終更新日： 2005/03/28

1 はじめに

Windows XP Service Pack 2 (以下 Windows XP SP2) の Windows ファイアウォールには、セキュリティ強化のための大幅な変更が加えられています。また、Service Pack 2 のインストールでは、Windows ファイアウォールが既定で有効に設定されます。

この変更は、HULFT-DataPass for Windows の動作に影響を与えますが以下の設定を行うことで、Windows ファイアウォールを有効にしたままで HULFT-DataPass for Windows を利用することが可能となります。

なお、Windows XP SP2、Windows ファイアウォールの詳細については、マイクロソフト株式会社様にお問合せください。

2 HULFT-DataPass for Windows の利用方法

Windows XP SP2 環境下で HULFT-DataPass for Windows を利用する場合、以下の設定を行ってください。

2.1 ポート番号の確認

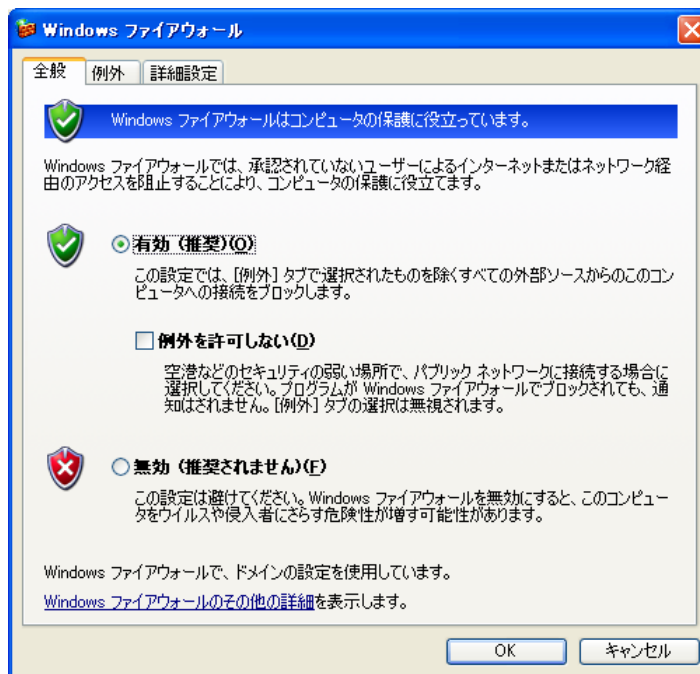
HULFT-DataPass for Windows のシステム動作環境設定ファイル「humenv.cnf」をテキストファイルとして開きます。

設定項目「統合監視ポート No. (HUMOBSPORT)」の設定値を控えます。

【注意】システム動作環境設定ファイル「humenv.cnf」はエクスプローラー上で、ファイルの種類が「SpeedDial」として表示されています。テキストファイルに関連付けて、ファイルを開いてください。

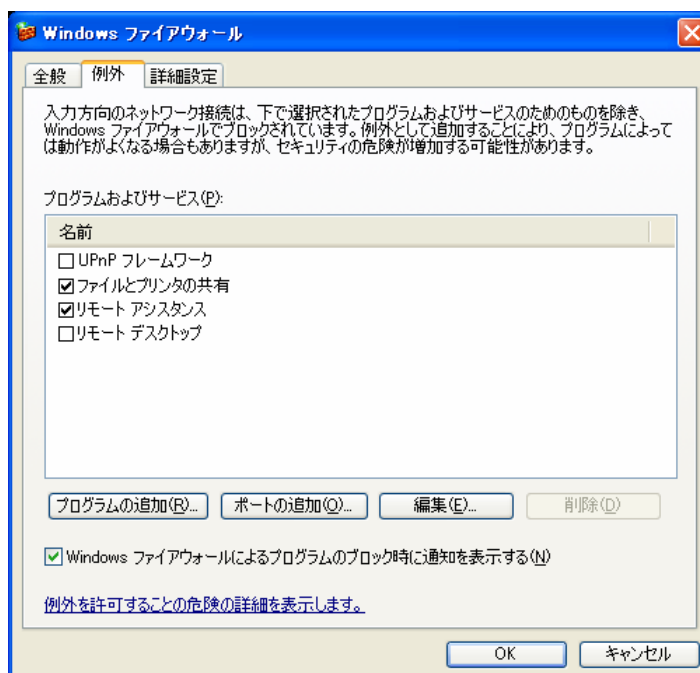
2.2 Windows ファイアウォールの設定

Windows のコントロールパネルを開き、「セキュリティセンター」 - 「Windows ファイアウォール」を選択します。既存で「有効」にチェックがされていることを確認します。「無効」になっている場合には特に設定の必要はありません。



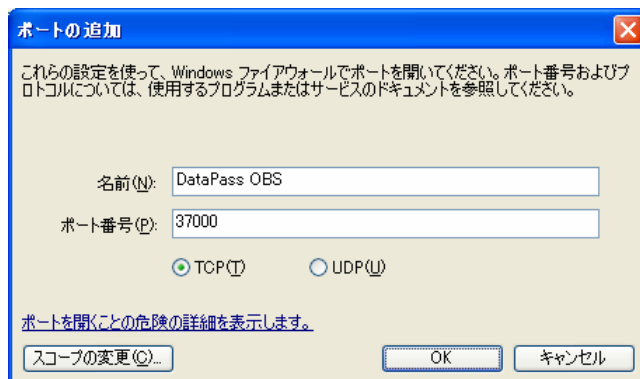
画面 2-1 Windows ファイアウォール画面 「全般」タブ

「例外」タブをクリックし「ポートの追加」を選択します。



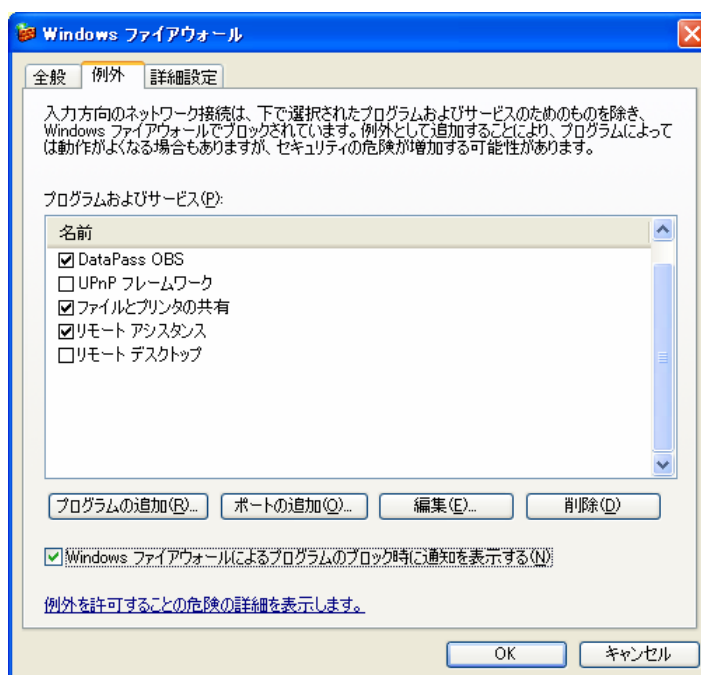
画面 2-2 Windows ファイアウォール画面 設定前の「例外」タブ

「ポートの追加」ダイアログが表示されるので、「名前」に任意の名前を登録し、ポート番号に「2.1 ポート番号の確認」で控えた「統合監視ポート No.」を入力します。



画面 2-3 ポートの追加画面

以上で作業完了です。登録した名前にチェックがついていることを確認して HULFT-DataPass for Windows の動作確認を行って下さい。



画面 2-4 Windows ファイアウォール画面 設定後の「例外」タブ